

2022年 12月期
第3四半期
決算補足説明資料

2022年10月31日

 三菱鉛筆株式会社

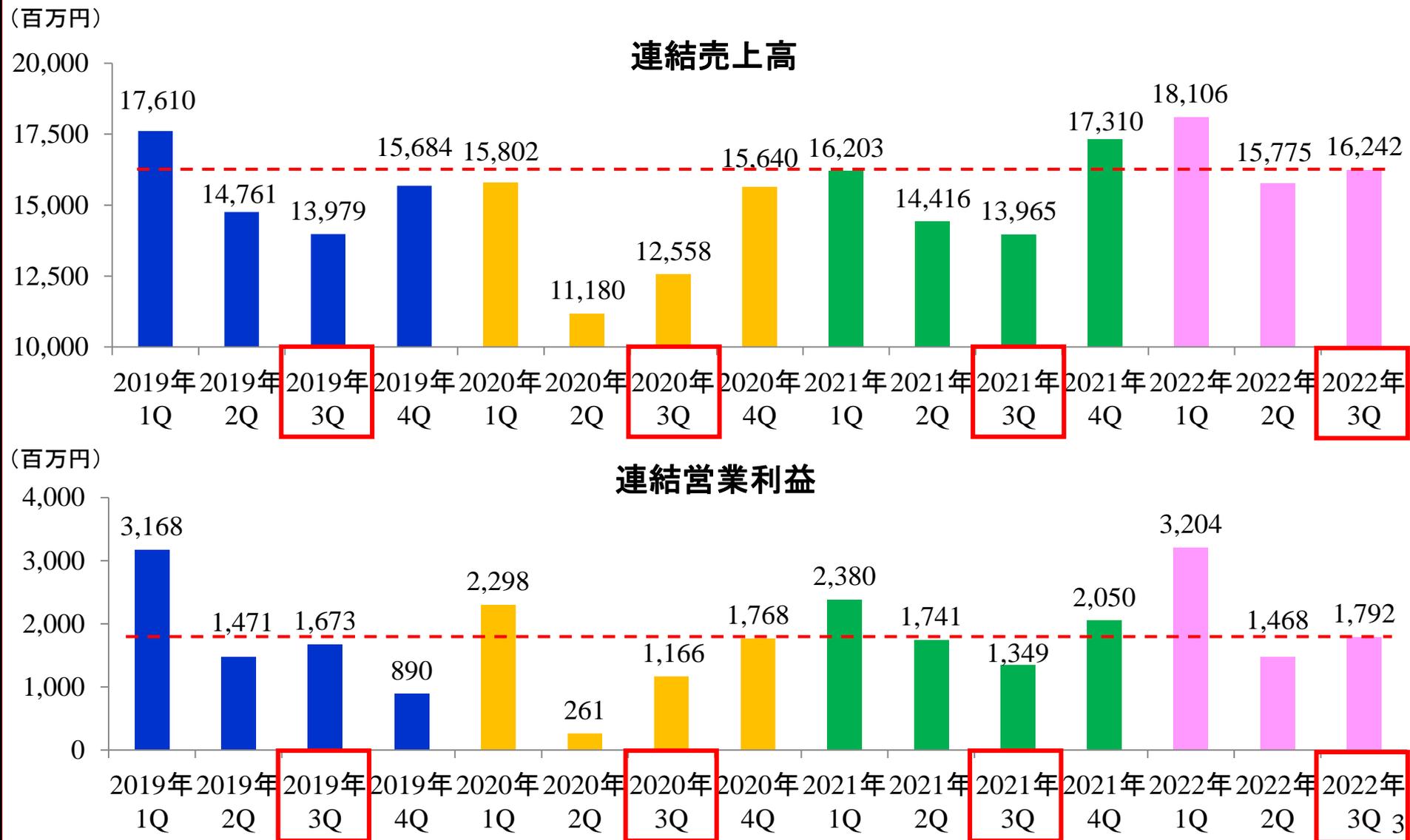
2022年第3四半期 連結決算 概略

【連結】 単位:百万円	2022年	2021年	対2021年		2020年	2019年	2018年
	1-9月	1-9月	増減額	増減率(%)	1-9月	1-9月	1-9月
売上高	50,123	44,584	5,538	(12.4%)	39,540	46,350	45,262
(USD平均レート)	¥128.03	¥108.57	¥19.46	-	¥107.46	¥109.39	¥109.92
売上総利益	24,543	22,286	2,257	(10.1%)	19,899	23,518	23,318
(売上総利益率)	49.0%	50.0%	-	-	50.3%	50.7%	51.5%
販管費	18,079	16,815	1,263	(7.5%)	16,173	17,206	16,871
営業利益	6,464	5,470	993	(18.2%)	3,725	6,312	6,447
経常利益	7,525	6,049	1,475	(24.4%)	4,080	6,506	6,725
当期純利益※	5,120	4,213	907	(21.5%)	2,640	4,327	4,365

※親会社株主に帰属する当期純利益

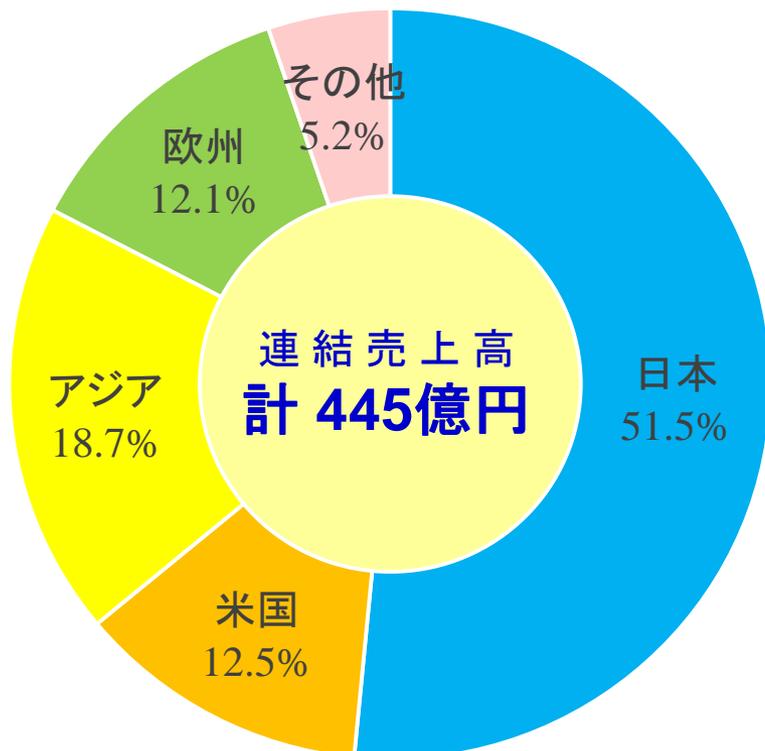
- ・売上高は海外市場での堅調さ、円安の影響により伸長
- ・営業利益は資源価格の高騰や円安による原材料価格の高騰、世界的な物流の混乱に伴う物流費の高騰のなか費用低減に努め、売上高伸長による販売差益の増加で18.2%の伸び

売上高・営業利益は概ね順調に推移



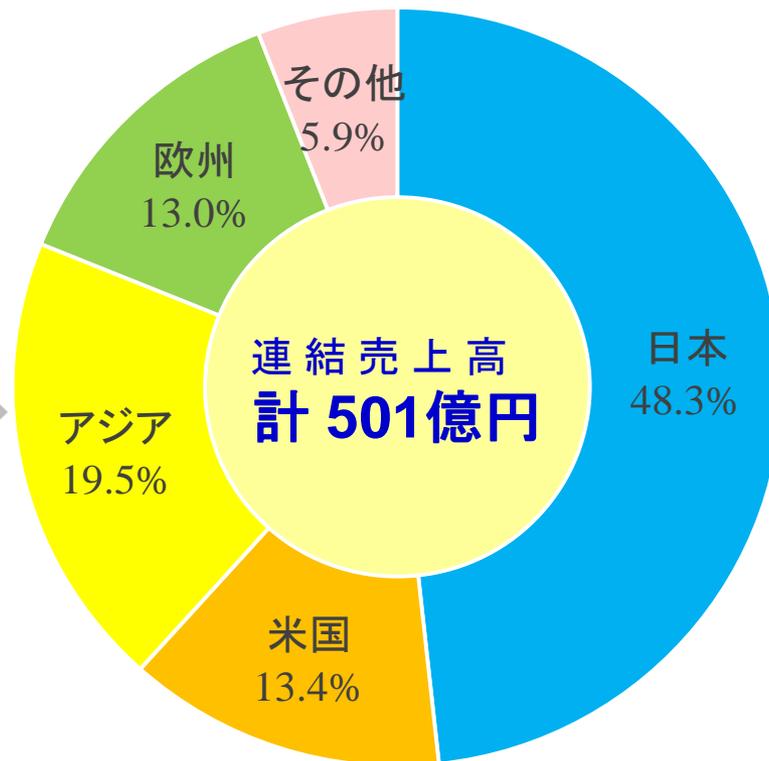
米国・欧州を中心に海外売上の構成比が伸びる

2021年 1-9月



国内:海外
51.5:48.5

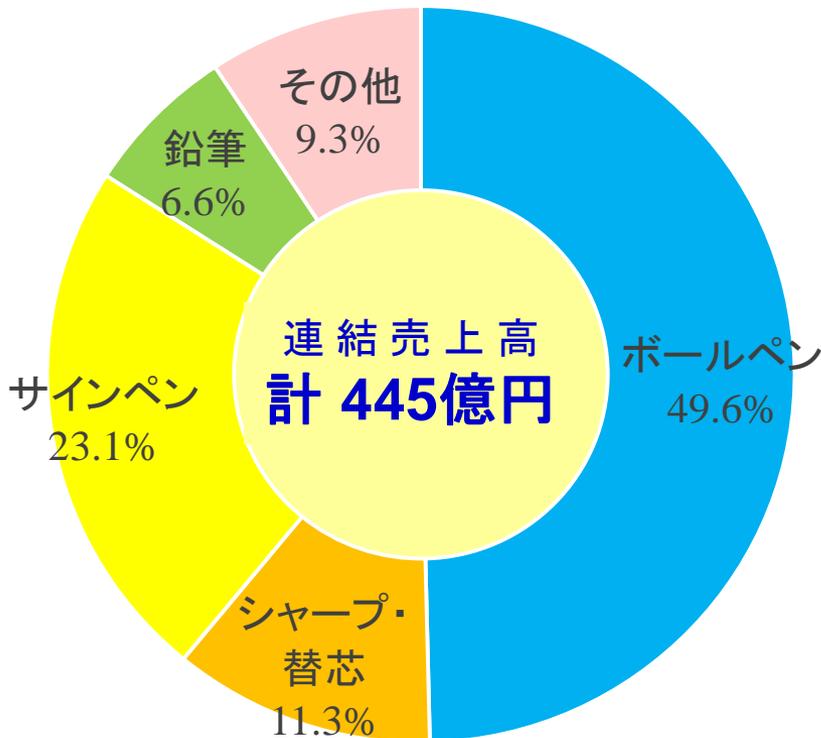
2022年 1-9月



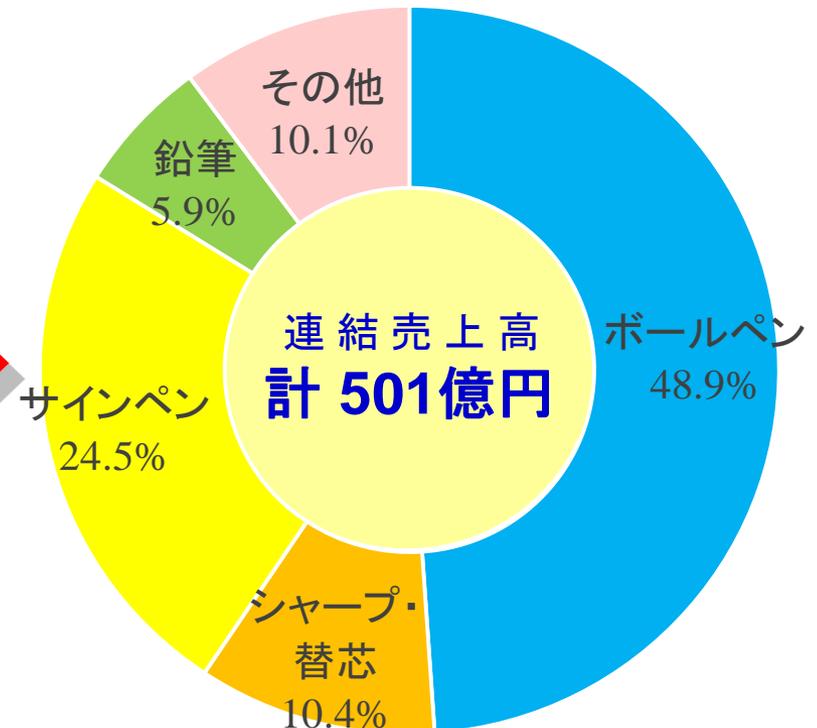
国内:海外
48.3:51.7

ポスカを中心にサインペンの構成比が伸びる

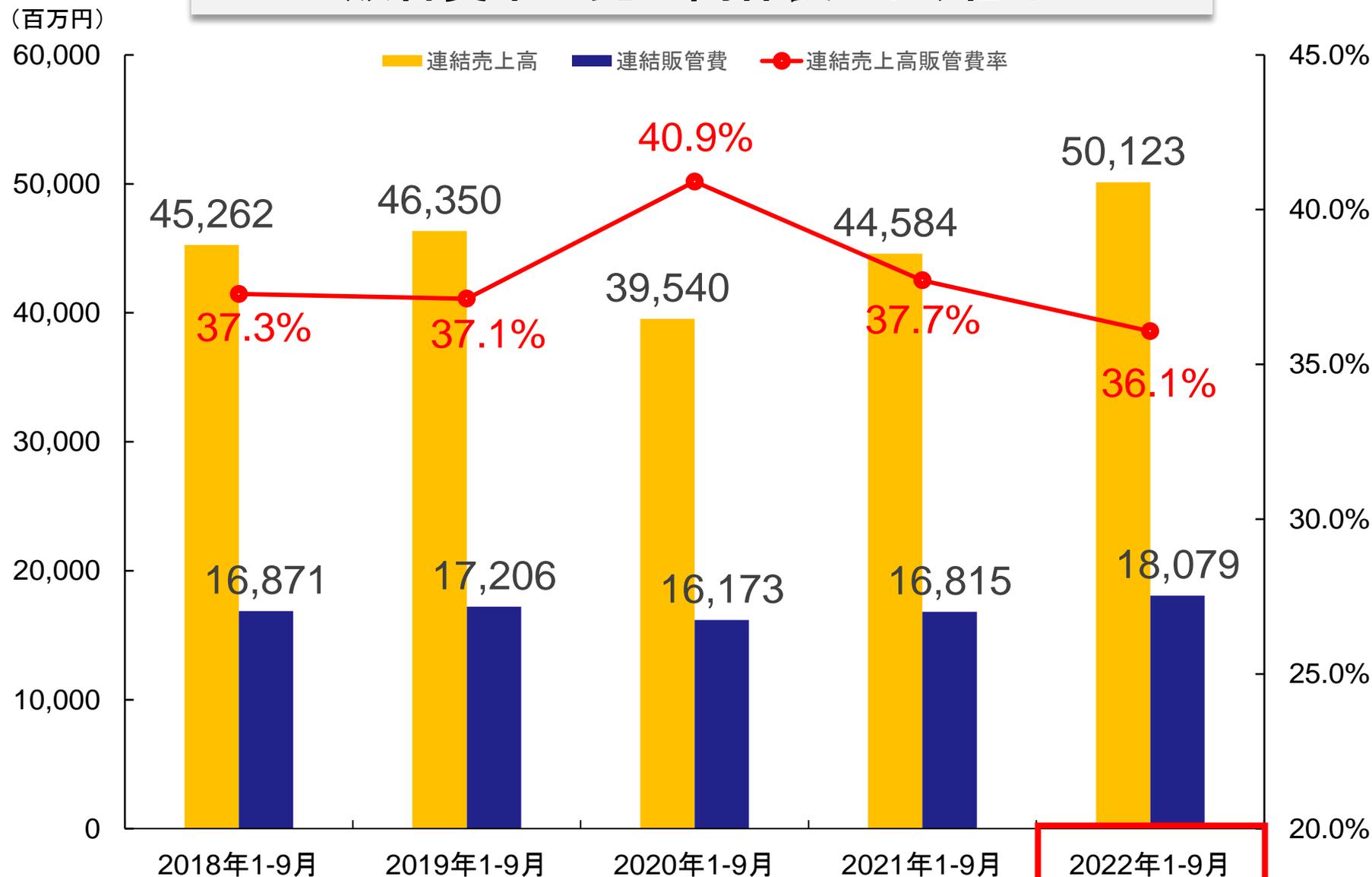
2021年 1-9月



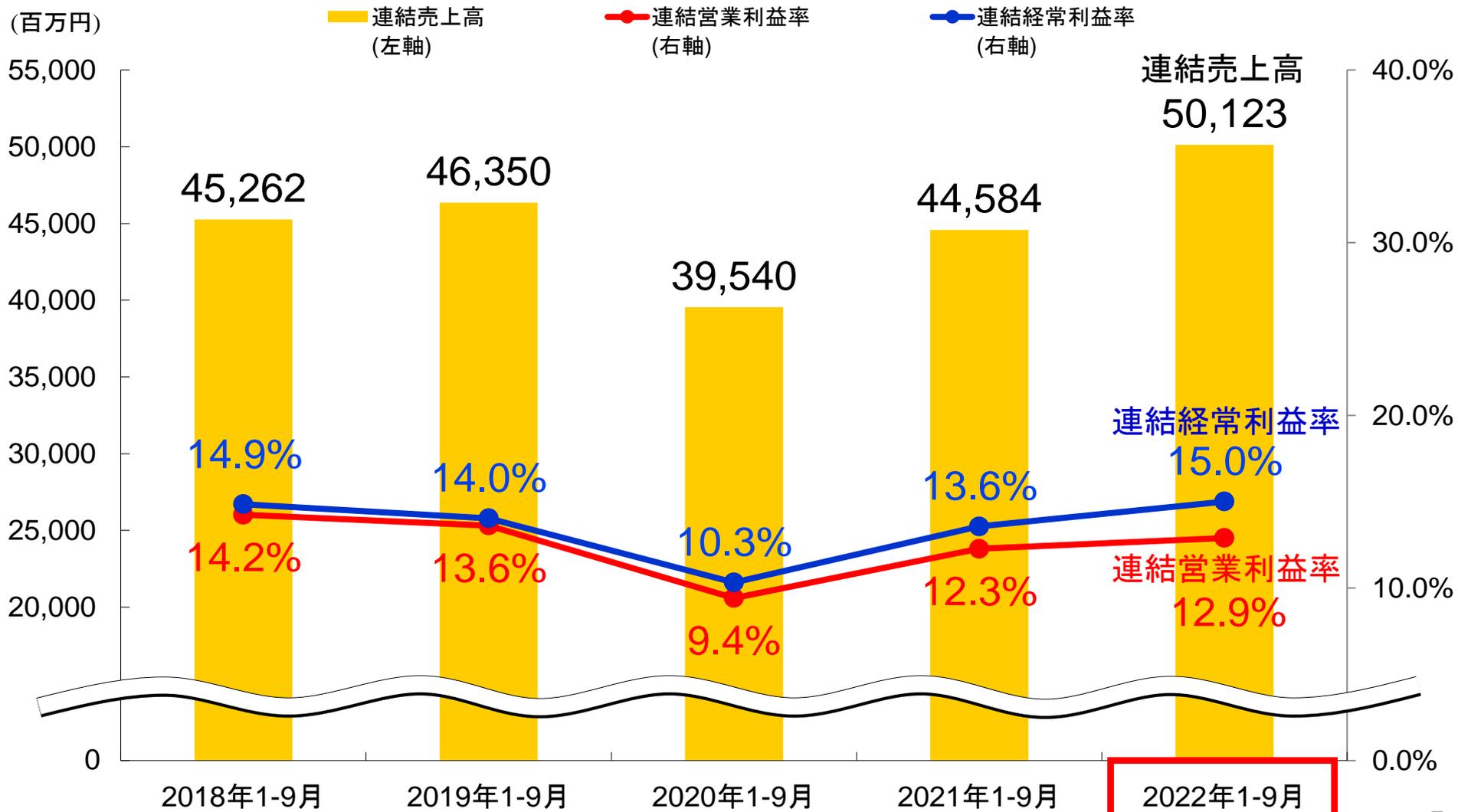
2022年 1-9月



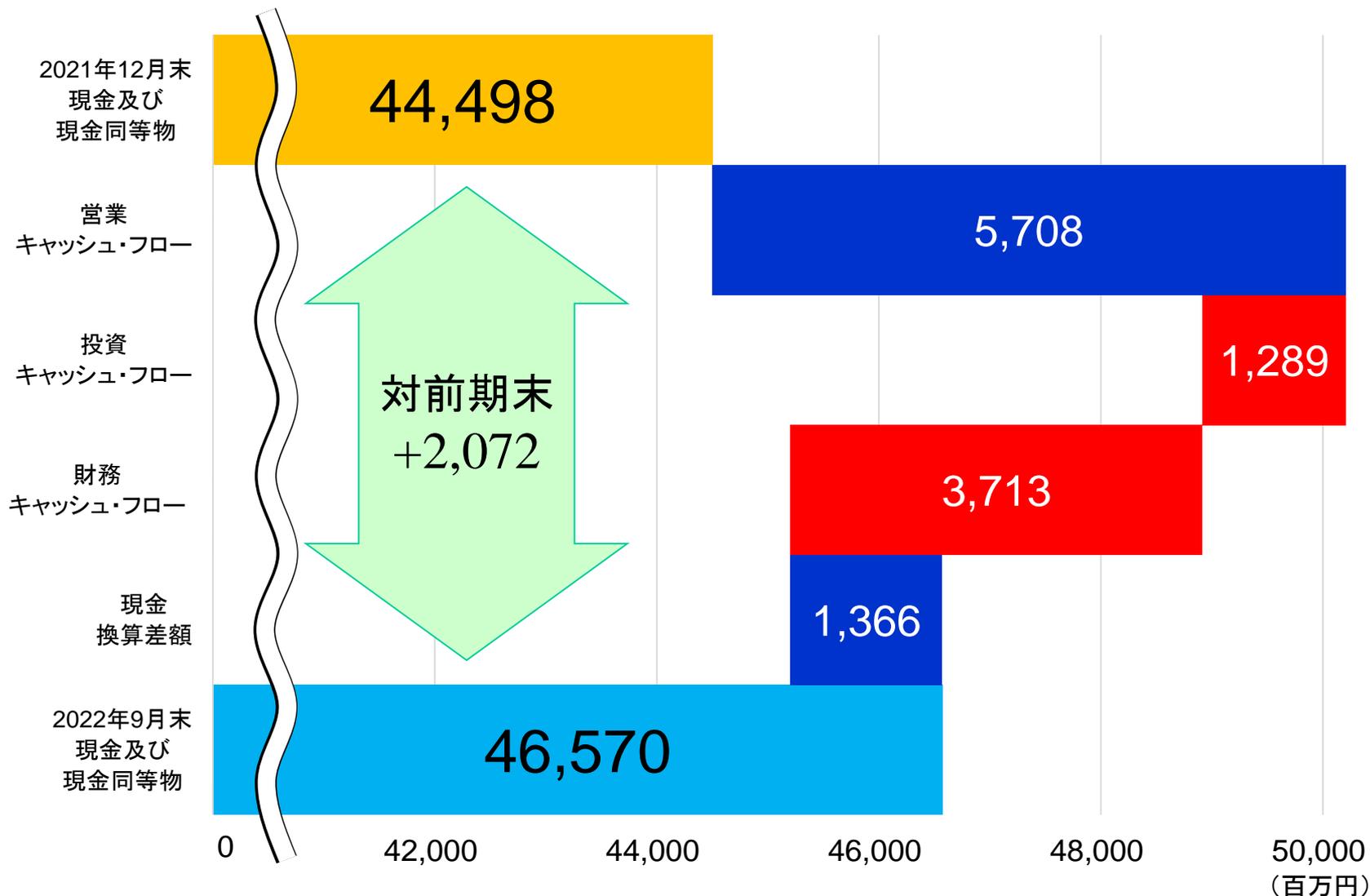
販管費率は売上高伸長により低下



営業利益率・経常利益率ともに上昇

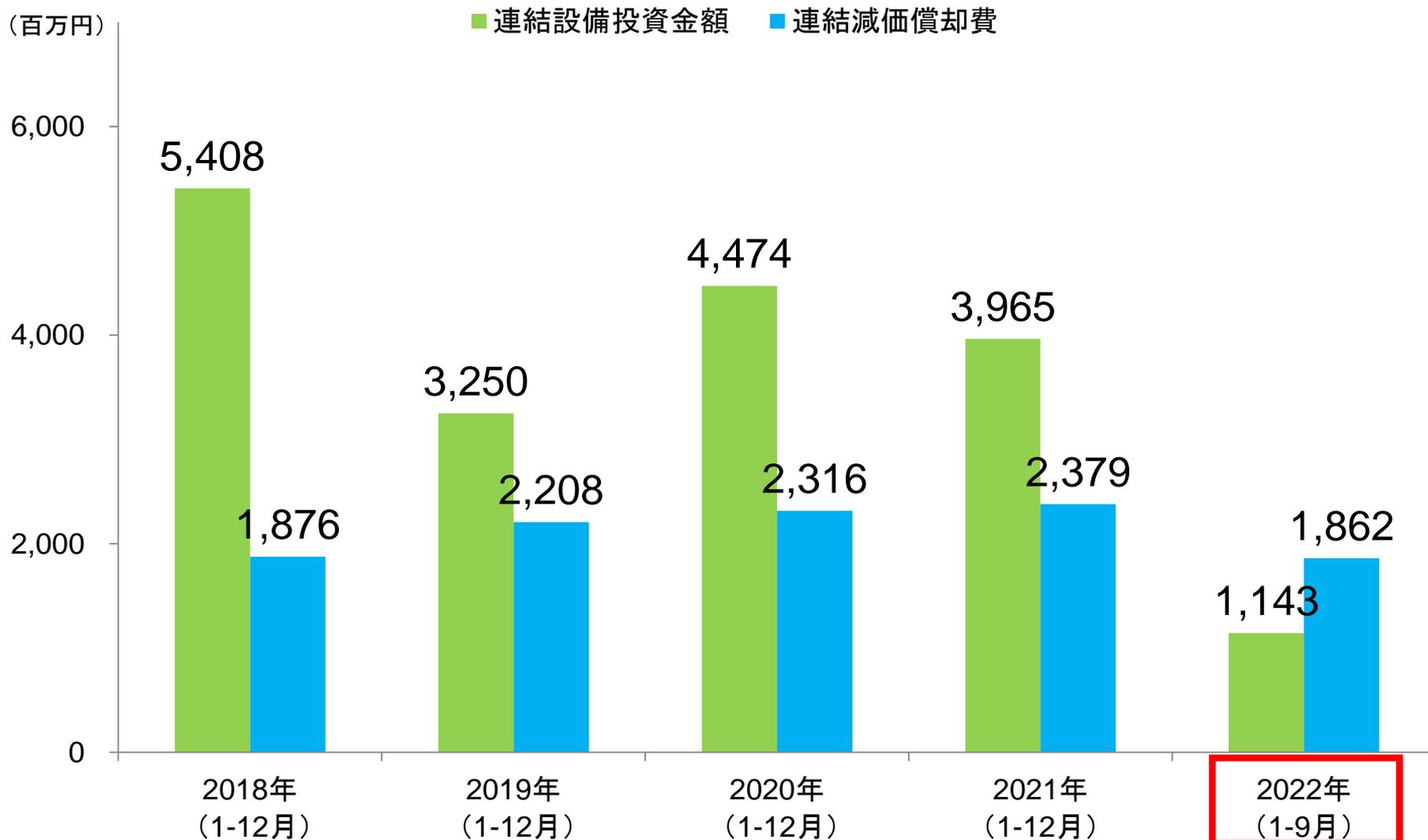


自己株式取得により財務キャッシュ・フローによる支出が増加



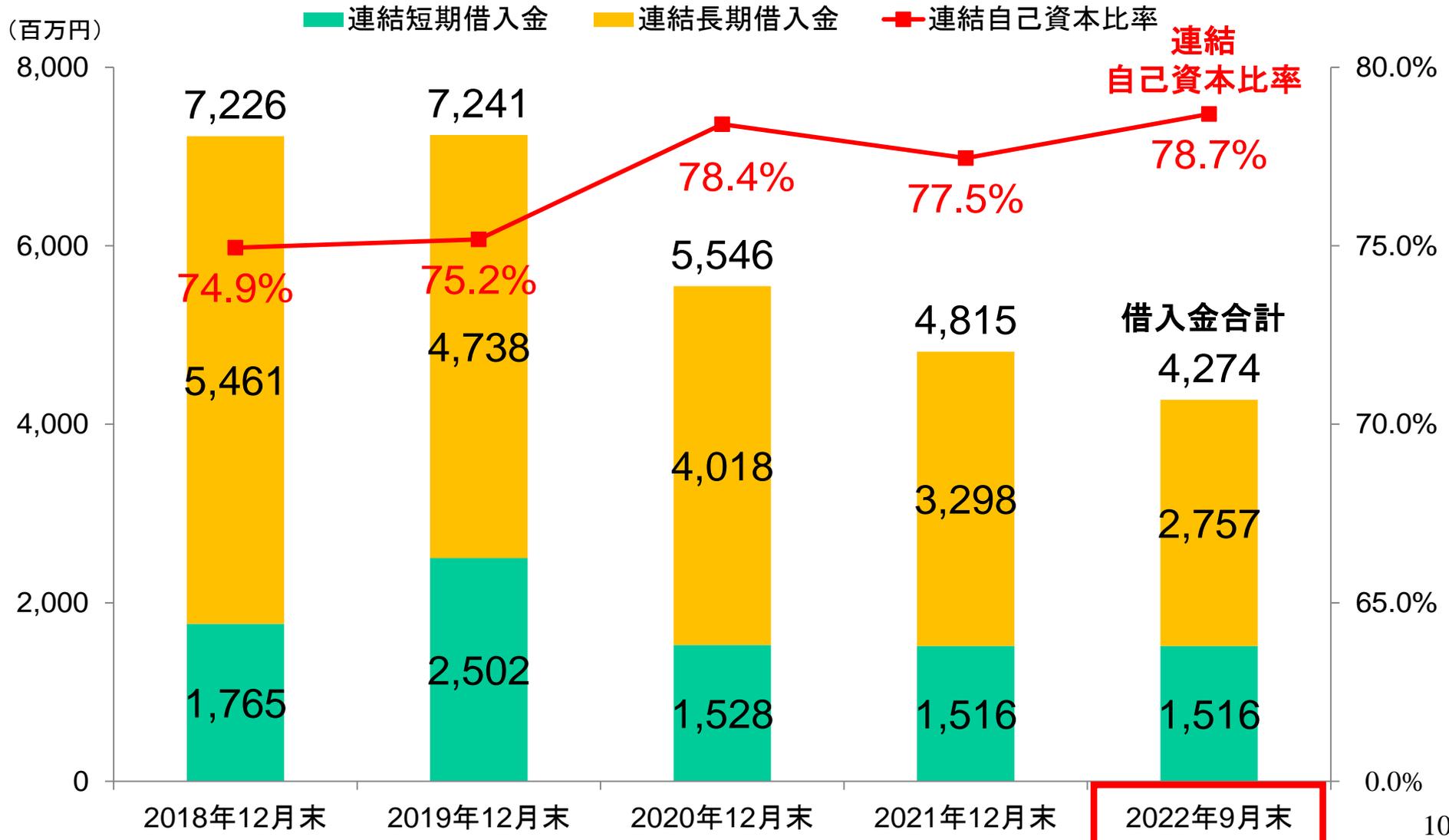
(※)キャッシュ・フロー計算書では定期預金残高は表現されませんので、BS「現金及び預金」とは一致しません。

第3四半期までは大きな設備投資なし

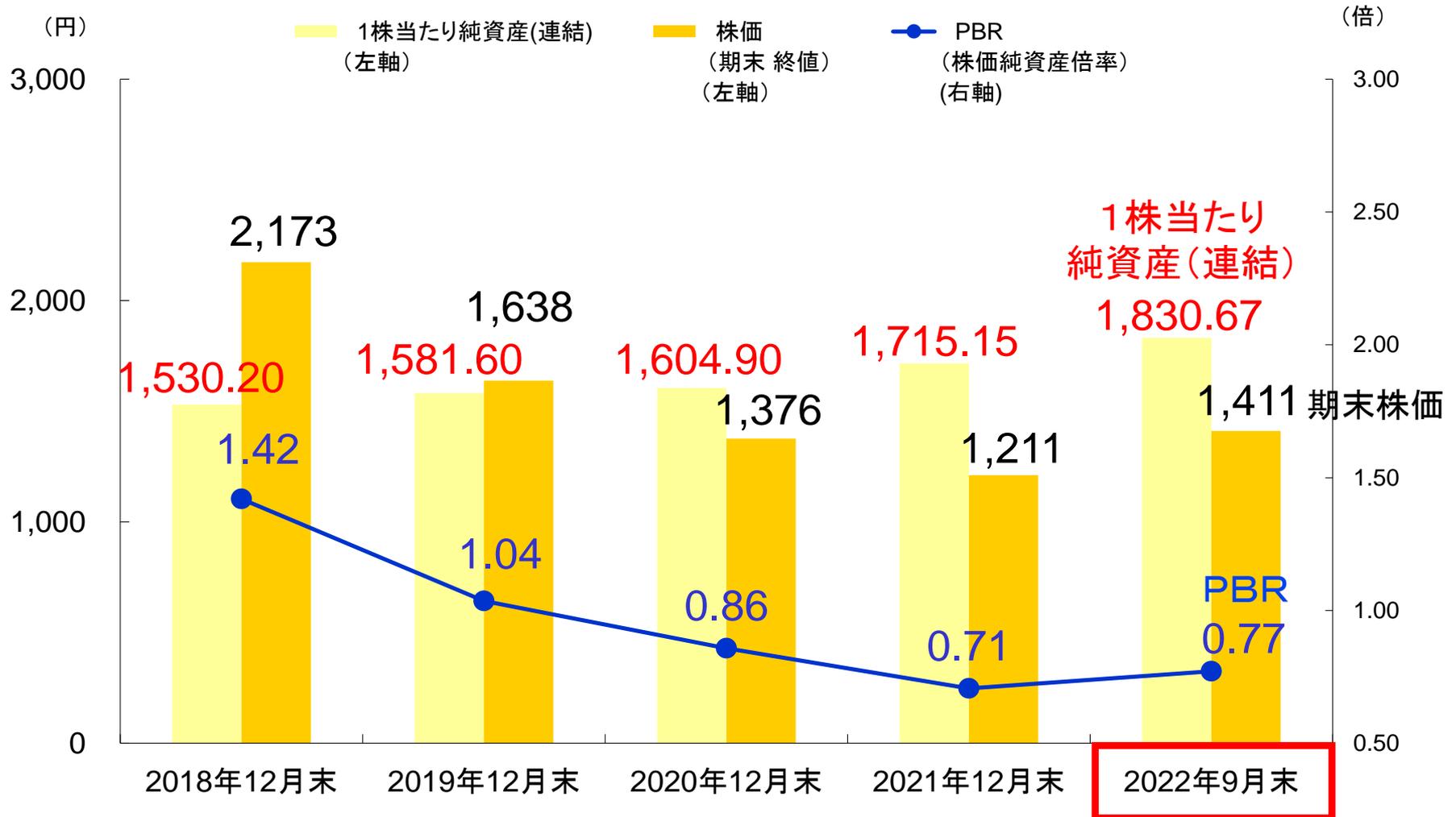


(※) 減価償却費からのれん償却額を控除しています

自己資本比率は高い水準を維持



1株当たり純資産は順調に増加、PBRも持ち直し傾向



※) PBR(株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ 連結1株当たり純資産

年間連結業績予想に対し順調に進捗

(百万円)

【連結】	2022年1-9月	外部公表値 (年間)	対 外部公表値(年間) 進捗率(%)
売上高	50,123	67,000	74.8
営業利益	6,464	9,000	71.8
経常利益	7,525	10,000	75.3
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5,120	6,800	75.3

違いが、美しい。

uni
MITSUBISHI PENCIL

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想となります。
従って、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。